

【一般枠】令和8年度みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧（50音順）

番号	新 継	事業者名	事業名	内容(事業1)<必須>				内容(事業2)<任意>				助成金額 (円)	主たる活 動市町村
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業					
1	継	アイリンブループロジェクト実行委員会	花と子供で育む、災害公営住宅住民との顔の見える関係性づくり	①	○	②	○	①		②	○	1,700,000	七ヶ浜町
				・毎週水曜日、七ヶ浜町松ヶ浜「お茶っこ会」開催し、高齢者・子ども・支援者が継続的に交流 ・秋田県横手市雄物川小学校、醍醐小学校との手紙交換・オンライン交流を年間8回程度実施 ・支援者や関係者との交流 ・高齢者の孤独・孤立化の防止、見守り活動				【回数】年度内 2回（宮城・東京） 【内容】 (1)寄付を募るためには、講演等によりこれらの活動を知っていただくことが大切であることから、支援団体から広報・発信方法・デジタル活用の導入についての助言を受ける。そのために、まず現地を視察していただく(宮城)。 (2)支援の輪を広げるための助言を受けるため、代表と担当で訪問する。					
2	継	あおい地区会	高齢者見守り及び生きがいきづくり事業	①		②	○	①		②		1,400,000	東松島市
				防災集団移転地で多くの高齢者が暮らし(65歳以上高齢化率31.75%)、また独居世帯(日中独居含む)も多く(約11.8%)住民が住民を見守る体制の維持継続が不可欠です。 事業1:高齢者、独居世帯中心の見守り活動 見守りサポーター10名により65歳以上の高齢者を中心に訪問活動 毎月1回以上・年間約120日の訪問活動及び毎月1回の定例会議 見守り対象世帯65歳以上200世帯 事業2:あおい農園の運営 農園登録者26名で作業5月～10月まで延べ260名程度作業 事業3:あおい地区の連携と情報発信及び独自イベントの検討・開催 (1)地域情報の発信(あおい通信の発行)及び独自イベントの検討・開催 (2)あおい地区連携協議会の開催 (3)各種イベントの開催(夏まつり、チューリップ球根植栽掘り起こし、日帰り旅行、ハロウィンパーティー、イルミネーション等)				-					
3	継	一般社団法人石巻じちれん	「支援」から「地域の活動」への転換を促し、孤独を取りこぼさない地域づくり	①	○	②		①		②		1,377,000	石巻市
				(1)身体機能維持や交流、外出機会の増加を目的とした、サロン等を開催するとともに、本年度以降も住民同士の協力によって住民が集える場が継続する体制を構築する。ラジオ体操(週2回)ニュースポーツサロン(月2回)、外出サロン(年2回) (2)心のケアを行う団体と連携した、住民の交流と相談機能を併せ持つサロン「新蛇田お茶っこサロン」を開催する。(毎月)また、本事業年度中に民生委員等と連携し、支援者がつくる場から、地域住民がつくる場への転換をサポートする。 (3)これまで交流の場に参加したことのない住民や、復興支援事業として行われていた居場所の参加者が行き場を無くさないように、サロンやイベント等での居場所づくりを行う。また、場の自走化に向けた調整と、相談等の個別ケースの対応から集いの場へのつながりを支援する。 男性を対象とした交流の場づくり(麻雀で遊ぼうの集い:年6回開催) (4)多様なニーズに対応することを目的とした、周辺地域で活動するNPO等の情報共有会議の開催。(年6回)				-					
4	継	特定非営利活動法人移動支援Rera	震災16年目の被災地における、健全で心豊かな生活を創出するための移動支援事業	①	○	②	○	①		②	○	1,700,000	石巻市
				1)移動困難な住民の送迎活動 ・障害や高齢、孤立、経済困窮等により、移動手段を持たない住民を対象とした、住民互助のボランティア送迎活動を行う。送迎の際の体調、会話の様子は団体内で共有し、必要に応じケアマネなどとの連携したサポートへつなげる。 ・日曜・祝祭日を除く毎日、団体保有の送迎車両3～5台により自宅と目的地を往復する送迎を行う。利用者は事前登録制で、利用は前日までの予約を原則とする。 ・送迎ボランティアは、各自の都合がつく時間で構成するシフト時間で送迎に従事する。 2)付き添いつきお出かけ送迎 ・新たな人とつながり、健やかな精神や心をもたらす「お出かけ」の機会を提供する。 ・月に1回、お茶っこ、ドライブ、お買い物、ドライブ等のお出かけプログラムを企画する。 3)地域の移動の担い手発掘・育成 ・「いのまき福祉送迎講習会」を開催し介護従事者、送迎ボランティア希望者などに対し、送迎の技術のみならず、必要な知識の習得機会とし、担い手の拡大、底上げを行う。				1)広告事業 ・募集先の調査・選定、広告費の決定などについて、専門家から助言指導を受ける。 【回数】年度内 6回 【内容】 ・広告主への提案内容の策定についての指導を受ける ・モデルケースを設け、広告主との折衝への同席、助言・指導を受ける 2)送迎受託 ・送迎を行っている企業、施設を調査し、委託条件、送迎規模を明確化する。(需要調査) ・受託可能条件を策定し、必要な事業体制(人員、車両)の試算を行い、要望との整合を図る ・事業体制を構築(人員等の確保、勤務体制確立)し令和9年度中に事業を開始する。					

番号	新 継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活 動市町村
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業					
5	継	一般社団法人雄 勝花物語	雄勝ローズガーデンを拠点とした被災者主体のコミュニティ活性化事業	①	○	②		①		②		1,400,000	石巻市
<p>事業1: 雄勝ローズガーデンを拠点にした交流事業 (1)歌を歌う交流会(「晴れた日だけ歌う会」と終了後のお茶会の開催・・・計9回 (2)植物を使ったものづくりワークショップと終了後のお茶会の開催・・・計14回 (3)ガーデンコンサートと終了後の交流会の開催・・・計2回</p> <p>事業2: 植物の栽培を通して異世代交流事業 植物の種まき、育苗、収穫作業を適宜、年4回行う。地元住民の他、雄勝小中学校とモリウミアス漁村留学生と協働で行う。</p>				-									
6	継	おらほの家プロ ジェクト	牡鹿半島地区での心と身体の支援事業	①	○	②		①		②		1,400,000	石巻市
<p>(1)拠点施設「おらほの家」を使つての送迎付きサロン活動。年間120回以上実施し10時から14時30分までおらほの家にて自宅の様に過ごして頂きます。交通弱者が多いため送迎は必須で安全面から毎回1往復。参加者8人程度で行います。 (2)買い物支援。おらほの家のサロン参加時に近隣へのコンビニエンスストアに送迎し食料品、日用品などの買い物支援を行います。また歩行が辛い方には、必要なものを代行で買い物します。更に月に1回、市街地へ買い物ツアーを行い、し好品購入や外部社会との接点を保ちます。 (3)地域住民によるサロン活動のサポート。鮎川地区で行われている「つどい黒崎」(月1回)と寄磯地区で行われている「寄磯前網お茶っこ会」(月2回)のサポート(送迎、準備、片付け等)を行います。</p>				-									
7	継	一般社団法人おり がみ	災害公営住宅における孤立防止と多世代交流による地域つながり再生事業	①	○	②	○	①	○	②		1,556,000	気仙沼市
<p>鹿折災害公営住宅全戸対象に行ったアンケートの災害公営住宅における孤立防止とつながり再構築事業 (令和7年2月に行なった災害公営住宅全戸アンケート)</p> <p>事業1: 月1回の災害住宅地内施設での交流会(フレイル体操や工作等) 事業2: 鹿折災害公営住宅を会場にしての大規模なマルシェ開催(よさらいんマルシェ) 事業3: 多世代が日常的に立ち寄り、交流や傾聴・見守りができる居場所</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・寄付および協賛の獲得に向けた仕組みづくり ・地域企業や個人へのアプローチ方法の検討および実践 ・継続的な支援につながる関係構築の手法の習得 ・スタッフの対応力向上に向けた研修内容の整理および実施 ・多世代交流のコーディネート力向上に向けた実践的な学び ・支援が必要な世帯への適切な関わり方に関するスキル向上 									
8	継	一般社団法人カリ タス南三陸	コミュニティ支援とボランティアコーディネート	①	○	②	○	①		②		1,400,000	南三陸町
<p>1. コミュニティ支援 (1)個別訪問(志津川地区、戸倉地区、歌津地区などへ震災後、高台移転に伴い孤立されている方々へ傾聴を通して自死や孤独死の予防、心のケアを行う) (2)お茶っこサロン(志津川地区、歌津地区でのコミュニティ支援や心のケア) (3)コミュニティ再生イベント(草木染め体験、新米おにぎりの会 & 古民具体験、ちらし寿司や太巻きづくり、リースづくり、ポッチャなどを実施し、通常行事に参加されない方にもお声がけしコミュニティの輪を広げ地域で支え合える環境へと繋げる。また被災高齢者たちに幼稚園のおにぎりの会にお声がけし子ども達との交流による心のケアを行う) (4)保養行楽: お花見、秋行楽(高台移転先で孤立している高齢者などを対象に被災地域から離れて精神的に落ち着く時間を確保し心身の疲れを癒す事) ※(1)(2)の個別訪問やお茶っこサロンでの傾聴から、(3)(4)のイベントや保養行楽へ繋げる</p> <p>2. ボランティアコーディネート (1)第一次産業支援(被災された漁業・農業従事者たちのお手伝いと傾聴による心のケア) ※ボランティアの少ない時期には個別訪問を通じた傾聴 (2)コミュニティ支援のイベントや個別訪問のお手伝い (地域の高齢の方々を対象にボランティアとの触れ合いを通して心のケアに繋げる) ※東日本大震災の記憶がない世代のボランティアも増えてきている為、活動期間中、主に学生を対象とし震災遺構案内を行い被災者に寄りそう気持ちを大切に参加して頂くように心掛ける。</p>				-									

番号	新継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活動市町村	
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業						
9	新	こども食堂バンビ	傾聴と食と体験でつながる地域交流事業	①		②	○	①		②		1,400,000	石巻市	
				事業1:傾聴とつながりで育む心の居場所作りの実施(月1回心をゆるめる講話・作品作り・会食等石巻市蛇田公民館にて(年間12回開催) 事業2:防災イベントの開催(年1回石巻市防災士協議会の協力で開催・講話・体験・展示等) 事業3:遠足の実施(年1回外出の機会損失を埋める・多世代交流目的) 事業4:ピアノミニコンサートの開催(ボランティアによる演奏会・年1回心のケア・外出機会の損失を埋める) 事業5:料理教室(食の楽しみを体験・年3回実施)								-		
10	継	一般社団法人コミュニティスペースうみねこ	地域伴走型支援	①	○	②	○	①		②		1,400,000	女川町	
				事業1 ワークショップの実施(年間14回) ・9地区において年間2回ずつ行う ・ワークショップの内容として藍染め、門松作り、フラワーアレンジメント、木工、蓮の花作りなど 事業2 地域交流の実施 (1)西区+上3区(ペタンクもしくはモルック+交流会 年2回) (2)宮ヶ崎+清水(ペタンクもしくはモルック+交流会年2回) (3)全地域合同(ワークショップ年1回 大演芸会年1回) 事業3 各地区へのお茶会参加と傾聴活動(月1回) ・当団体が主催 このり地区でお茶会を行う(5回うち2回は食事会) ・地区主催のお茶会に参加(上3区、尾浦地区、西区、宮ヶ崎などのペタンクやお茶会)大原南区のラジオ体操								-		
11	新	一般社団法人スタンドアップ亘理	多世代交流を通じたコミュニティ再編と活動自走化事業	①	○	②		①		②	○	1,423,000	亘理町	
				●事業1:多世代交流型「わたり屋台村」の定期開催 ・災害公営住宅の集会所や広場にて、地元の若者と高齢者が協力して飲食・体験ブースを運営するイベントを年4回実施。 ・郷土料理の伝承ワークショップや、若者によるIT相談会などを併設。 ●事業2:地域住民と若者のお茶会「亘理ば語る場」の実施 ・震災の経験を風化させないため、被災住民による講話と、それを受けた若者のアウトプット(SNS発信等)を行う場を年2回開催。				●ファンドレイジング(資金調達)専門家による助言指導 ・寄付ポータルサイトの活用や、マンスリーサポーター制度の設計について専門家から指導を受ける。 ●先進事例団体の視察・意見交換 ・被災地において、独自の物販や企業連携で自走化に成功している他県の団体を訪問し、運営実務を学ぶ。						
12	新	公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団	つながるスマホ講座～デジタルで紡ぐ、被災地の心の復興と絆づくり～	①	○	②		①		②		1,400,000	南三陸町	
				・高齢者を対象に南三陸町・山元町・東松島市および石巻市の計4会場において、年間40回(各会場10回)のスマートフォン講座を開催する。会場はいずれも参加者が徒歩・近距離で通える集会所等を選定する ・1講座あたり10名程度の少人数制とし、参加者一人ひとりの習得ペースに寄り添いながら丁寧に指導する。習熟度に差が生じた場合に備えた予備カリキュラムを用意し、柔軟な運営体制をとる ・カリキュラムは全10回の段階的構成とし、スマホの基本操作・LINE・ビデオ通話・詐欺対策・トラブル解決方法など日常生活に直結した内容を網羅する。後半5回にはAIの体験を組み込み、音声アシスタント・詐欺メッセージの見破り・震災前の地元をたどる体験など、高齢者が楽しみながらAIに親しめる内容を段階的に取り入れる ・毎回の講座終了後に30分のお茶会を実施する。お茶会は参加者同士が近況を語り合い顔見知りの関係を育む場として意図的に設計し、震災後の移転・再定住で生まれた地域の孤立状況の改善を目指す ・講座修了者の中からスマホ・AIの活用が得意になった方を地域サポーターとして育成し、次年度以降は住民自身が教え合う自立的な運営体制への移行を図る。助成終了後も学びの場が地域に残り続けることを最終目標とする								-		

番号	新継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活動市町村
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業					
13	新	特定非営利活動法人仙台傾聴の会	傾聴活動による「心のケア」コミュニティ形成事業	①	○	②	○	①		②		1,400,000	仙台市
				<p>○「傾聴カフェ」:「傾聴」「箱庭」「ものづくり」「脳トレ」「体操」「手話」「音楽」「絵手紙」等・復興住宅集会所、地域のコミュニティーセンター等で毎月開催、どなたでも参加OK 仙台市:霊屋下第二市営住宅、荒井東市営住宅、あすと長町第一、第二市営住宅 名取市:3か所、参加者各10名位。/美田園北集会所、高柳東復興住宅集会所、増田公民館 岩沼市:2か所、参加者各35名位。/岩沼西コミュニティーセンター、玉浦コミュニティーセンター 亙理町:1カ所、参加者10名位。/上浜街道住宅集会所 七ヶ浜町:5か所、参加者各20名位。/菖蒲田浜地区、松ヶ浜地区、花淵浜地区、吉田浜地区、代ヶ崎浜地区、の各集会所。 ○「街中カフェ」:上記以外の街中で、主に仙台市内の会場の予約がとれた時点でチラシ作成して開催。音楽やものづくり等をいれて、参加しやすい内容で毎月実施、参加者各20名位。 仙台市シルバーセンター・若林区中央市民センター、青葉区中央市民センター、太白区中央市民センター、等</p>									
14	新	東北市民バンド協議会	音楽による住民同士の絆に繋がる地域コミュニティの維持および活性化支援事業	①	○	②		①		②		1,400,000	多賀城市
				<p>「絆づくりコンサート」や懇談会を開催 誰もが気軽に参加できてコミュニティの推進につながるコンサートや懇談会などを開催。体験型交流コンサートとして、参加者が打楽器、歌、手拍子などで一緒に曲をつくる。コンサート終了後に、演奏者と参加者の交流懇談会を開催して、コミュニティの活性化を図る。 宮内災害公営住宅で開催するときは、桜木南地域にも周知し、また新田災害公営住宅で開催するときは、新田3区地域にも周知する。 6月から宮内災害公営住宅と新田災害公営住宅で交互に毎月開催(年間で10回開催)</p>									
15	継	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会	令和8年度 SOAT にじいろぱれっと「心の復興・いしのまき雄勝」	①	○	②		①		②		1,400,000	石巻市
				<p>○事業1:ものづくりアートワークショップの開催 具体的施策:公民館、集会所等での「ものづくりアートワークショップ」の開催 ・雄勝硯伝統産業会館、小島集会所、船越集会所、熊沢集会所を会場とし、月2回(年間14回)実施する ○事業2:世代間交流アートワークショップの開催 具体的施策:雄勝保育所と地域住民とのものづくりアートワークショップの開催 ・雄勝保育所を会場とし、年1回実施する ○事業3:オールおがつアートワークショップ「おがつ物コシエール」の開催 具体的施策:雄勝町民の造形作品の展示、ものづくりアートワークショップの開催 ・雄勝硯伝統産業会館を会場とし、年1回実施する</p>									

番号	新 継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活 動市町村
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業					
16	継	特定非営利活動 法人虹色たんぽぽ	地域のお節介文化 を醸成する、持続 可能な地域コミュ ニティ構築事業	①	○	②	○	①		②	○	1,700,000	亶理町
				<p>＜サロン活動＞地域コミュニティの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの保健室(全世代向け)」「おらほの保健室(お年寄り向け)」 ・「おじいちゃんの野菜づくり講座」「おばあちゃんの手仕事講座」 ・その他「出張保健室」など <p>＜聞き書き活動＞被災者のグリーンケア、震災記憶の記録・伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りや被災者の話を聞き、話し言葉のまま記録し一冊の本にする。 ・展示やラジオ等による聞き書きの啓蒙活動。 <p>＜各種相談＞</p> <p>ボランティアメンバーである看護師、助産師が、「生活相談」「健康相談」「育児相談」に専門的な立場から対応する。</p>				<p>1)聞き書きの価値を高め、地域を主体とした持続的な活動とするために、「聞き書き」「被災者支援」に詳しい専門家より助言指導を受ける。</p> <p>2)市場販売ができるレベルの製本を行い、一般販売を行うために、聞き書きや被災者支援関連書籍の執筆発刊の経験豊富な有識者より助言指導を受ける。</p> <p>【回数】年度内 4～6回程度(上記1と2を同時平行で行っていきます)</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状分析を行い、聞き書きの価値を高める工夫、具体的なアクションについて方針を決める。 ・具体的な行政機関との連携仕組みづくりの助言を受ける。 ・販売可能な製本を行うための文章の推敲・編集についての助言、外注の利用をどうするか判断 ・聞き書き本販売先の選定について助言を受ける。可能であれば、販売先の紹介をいただく。 					
17	継	特定非営利活動 法人20世紀アーカイブ仙台	地域映像を使用し た被災地域住民に よるコミュニティ活 動の促進事業	①	○	②	○	①		②	○	1,700,000	気仙沼市
				<ul style="list-style-type: none"> ・概要：被災地の地域映像を使用した上映会を行い、地域住民が自分達でも上映会を開催出来る様、地域の映像コンテンツを提供する。また自主上映会開催にむけてのマニュアル作成、実施の際のサポート等を行う。 ・会場：県内被災地域3か所の復興公営住宅集会所または地域コミュニティセンター等 ・対象者：復興公営住宅及びその近隣の高齢者施設や地域住民の方々(主に高齢者) ・開催回数：各会場ごとに1回、定期的に全3回開催、その後住民の手による自主的な上映会開催のサポートを1回行う ・内容：「昔を語る会」(懐かしいをテーマにした10のコンテンツの中から地域住民と内容を協議し選定) ・連携：地区の社会福祉協議会、町内会、まとめ役となる地域住民の方々と連携・協力を得ながら実施 ・提供：住民の方々による自主開催の為のマニュアル及び素材DVDの提供(無償貸し出し) 				<p>(1)被災地域の優良企業様へ地域貢献事業の一環として「昔を語る会」を組み込んで頂き、実施の際の資金協力をお願いするなど、協働で被災地域のコミュニティ形成活動や被災高齢者の心のケアなどを行う事を目指す。</p> <p>(2)当団体の実施内容を理解して頂く為、プレゼン用PR動画や案内パンフレットを作成し営業活動を行う。</p> <p>(3)実施地域は気仙沼・石巻を中心に行い、企業を訪問予定。</p>					

番号	新 継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活 動市町村	
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業						
18	継	一般社団法人日本カーシェアリング協会	被災地域における住民共助の移動支援の持続的運営支援事業	①	○	②		①		②	○		1,675,000	石巻市
<p>石巻市内9地域に対して(1)～(3)の支援を実施し、石巻市外を含む宮城県内の被災地域に対して(4)の支援を行う。</p> <p>(1)担い手獲得サポートの実施(課題:担い手不足により活動継続が困難) 内容:各地域において住民アンケートの実施、募集チラシの作成・配布、担い手獲得に係る調整支援を行う。 目標:新規担い手5名の獲得</p> <p>(2)事務負担軽減サポートの実施(課題:高齢化に伴う事務処理能力の低下) 内容:運行管理システムへの入力代行及び操作レクチャーを実施し、事務負担の軽減を図る。 目標:新たにシステム入力可能な地域を1地域創出、継続困難な状況だった地域の活動維持</p> <p>(3)交流促進サポートの実施(課題:担い手のモチベーション低下による活動停滞) 内容:地域間交流会及び研修会を実施し、運営ノウハウの共有と関係性の強化を図る。 目標:年3回の開催、好事例の横展開3件</p> <p>(4)他地域相談サポートの実施(課題:未導入地域における移動・コミュニティ課題の未解決) 内容:課題のある地域に対し、CCSの説明など相談対応を行う。 目標:対応件数3件</p>				<p>・コミュニティ・カーシェアリング導入支援の有償化に向けた支援メニューの整理及び広報ツール(冊子)の作成</p> <p>・自治体向け提案資料の作成及び導入に向けた初期プロセス(提案、説明会、合意形成まで)の整理</p> <p>・県内自治体への事業説明及びニーズ把握(訪問・意見交換の実施)</p> <p>・必要に応じた地域住民向け説明会の実施及び自治体主催による勉強会開催の支援</p> <p>・車両寄付を促進するための広報ツール(チラシ・ポスター、冊子)の作成</p> <p>・自治体等と連携した寄付導線の構築(設置場所の確保及び運用方法の整理)</p>										
19	継	特定非営利活動法人のさり	コミュニティ復興支援「サロン交流で体も心も健康に」	①	○	②		①	○	②	○		1,111,000	石巻市
<p>事業:サロン活動の支援 渡波地域でサロン活動を継続している2つの地区(さくら町3・4丁目、黄金浜)に出かけてポッチャを活用した支援をする。昨年度好評だったポッチャ地区対抗交流戦を年2回開催する。また、ポッチャ会以外にも住民が希望する手作りや料理等で活力を発揮できるように力を尽くしたい。 各地区 毎月1回程度</p> <p>＜プログラム＞ (1)コミュニティ形成のためにアイスブレイキングで交流を図る (2)体と心をほぐす体操 ウォーミングアップ (3)ポッチャ対戦で楽しく元気に交流 (4)住民希望のレクリエーション活動(手作り、料理など) 注:黄金浜地区は上記の③または④のどちらかを選んで開催する</p>				<p>(1)寄付を募るためには地域住民の認知度を高める必要があることから、地域づくりの伴走支援と地域ネットワークに詳しい専門家から助言指導を受ける。 【回数】年度内 10回 【内容】 ・現在の状況分析を依頼し、課題・改善点を整理 ・作成した「業務分掌表」を用いて、デイサービス事業との役割や機能の整理、両事業の関係性の可視化の運用方法について助言を受ける。 ・持続的な活動のために収入源の確保・地域住民からの認知度アップを意識した団体パンフレットの新規作成のアドバイスを受け、そのキーワードに関して提案をいただき、パンフレットを完成印刷をする。</p> <p>(2)寄付獲得のために、新規パンフレットの活用方法について指導を受ける。 【回数】年度内 2回 【内容】SNS等を活用した情報発信・広報についてアドバイスを受ける。</p>										
20	継	特定非営利活動法人ばんぷきんふれあい会	住まいの安定確保と生活支援の一体的提供による被災者の孤立防止と地域定着支援事業	①	○	②	○	①	○	②			1,700,000	石巻市
<p>(1)地域コミュニティ形成支援【必須事業】 ・交流サロン・居場所づくり →ふまねっと運動教室 4地区 130回 想定参加人数(延べ)1,300人 ・ボランティア・地域住民の巻き込み →サポーター養成講座 1回 5人、フォローアップ研修開催 1回以上 10人 (2)生活支援・定着支援【必須事業】 ・傾聴支援(孤独・不安の軽減) →不安・孤独の軽減、継続的關係構築 (想定対象者数10名程度) ・生活課題の把握と関係機関への接続 →医療・介護・福祉サービスへの接続、隣人トラブル予防、生活定着支援 (想定対象者数10名程度)</p>				<p>(3)居住支援(住まいの確保支援)【任意事業】 ・住宅確保要配慮者(高齢者・低所得者・障害者等)への入居支援 →不動産事業者とのマッチング (想定対象者数3名程度) (4)居住支援体制の構築並びに多機関連携による継続可能な支援モデル構築【任意事業】 ・居住支援の仕組みの標準化 →住まいに困難を抱える被災者へ「切れ目ない居住支援」の提供を行うための支援フローの作成 ・多機関連携体制の構築(不動産事業者、地域包括支援センター、医療・介護事業所、その他福祉事業者) →民間・福祉・行政の支援窓口を一本化し、支援効率を向上を目的としたネットワークを構築する(定例会議 3回以上)</p>										

番号	新継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活動市町村		
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業							
21	新	広瀬川倶楽部	東日本大震災被災者への「心の復興応援(ダーツ交流会・杜の都の笑楽隊)」	①	○	②		①		②		1,123,000	仙台市		
				◆「ダーツ交流会」・・・2012年後半から開催。年齢・性別・体のハンディ等に関係なく対等にプレイ出来るスポーツだが、様々な工夫をして「ラフターダーツ」として「1回2時間・4種目プレイ」を基本とし、運動量は「1万歩」歩いたのと同等になると言われており、運動不足の解消にもなっている。 ◆「杜の都の笑楽隊(バラエティショー)」・・・2012年2月に発足した、様々な芸を持った隊員が出演する「住民参加型」のバラエティショー。「1公演2時間」を基本とし、出演者は平均13名。演目数は毎回10以上でバラエティに富でおりに参加者は「トイレに行くのを忘れて入り込んで大笑い」して頂いている。								-			
22	継	一般社団法人ふらむ名取	閉上・元気を運べ・コミュニティ再生事業	①	○	②	○	①		②		1,400,000	名取市		
				・事業1:茶話会は閉上中央第一団地集会所で毎週火曜日に行います。 月4回×10ヶ月=40回 ・事業2:季節行事として、芋煮会、餅つき会、節分豆まき、3月11日集会所で追悼式を行います。 9月芋煮会 12月餅つき会 2月節分豆まき 3月追悼式(白おこわ作り供養) ・事業3:傾聴は2名で閉上・美田園団地及び移転した住民に月3回2名で行います。 1名月に3回×10ヶ月 計30回 2名で計60回 ・事業4:地域情報紙「閉上だより」年4回発行。 3月・6月・9月・12月に4000部発行。地区内は住民が配布。移転した住民、支援団体・個人に郵送して、支援継続をしてもらうことで住民も繋がり感情が芽生えています。								-			
23	新	一般社団法人MADEENA	暮らしの保健室&カフェデモンク「ひなたぼっこ」	①	○	②	○	①		②		565,000	石巻市		
				事業1:暮らしの保健室の開催 ・年4回開催(内2回は事業2と共同開催) ・会議室を借りる、立町通りの空き店舗を借りる、災害公営住宅の集会場や医療アクセスの不便な沿岸地域に出向いて「保健室」を開くなど、地域のニーズに合わせて開催場所や方法を工夫する。お茶などを飲みながら相談できるように、アットホームで居心地のよい空間づくりの工夫を行う ・自分たちの将来についての備えとして、受けたい医療や未来にどうなりたいかなどの自分の思いを伝えたい方へなど、アドバンス・ケア・プランニング:人生会議(ACP)について、講師を読んで勉強会を開催し、その後、被災者とともにACPを考えるワークショップを開催したい ・担当者は主に看護職OG等が担当するが、その他、暮らしの保健室の活動に賛同してもらえる方々 事業2:カフェデモンクの開催 ・年3回開催(内2回は事業①と共同開催) ・立町通りの空き店舗を借りる、災害公営住宅の集会場などで開催する ・担当者は宗派を問わず、お坊さんや神職・牧師さんなどとともに、お茶などを飲みながら傾聴活動を行う								-			
24	新	みんなんちクラブ	みんなの拠り所、みんなんちクラブ活動!	①	○	②	○	①		②		1,177,000	東松島市		
				みんなんちクラブ活動を下記の内容で行います。(期間4月～2027年3月) (1)ピンポンクラブ: 第1月曜・第3月曜日 10時～12時 計24回 (2)100歳体操: 毎週火曜日 10時～12時 計51回 (3)みんなんちクラブ(サロン活動): 第4金曜日 10時～14時 計12回 →お話会やカラオケや勉強会(生活に役立つ内容など)を行う。 (4)料理教室・工作教室(不定期): 10時～13時ごろまで 年6回程度 →外部講師により実施 会場: 小野駅前東集会所(住所:東松島市牛網駅前字6-17) 対象者: 限定なし(町会関係なく。市内外参加OK)								-			

番号	新 継	事業者名	事業名	内容(事業1)＜必須＞				内容(事業2)＜任意＞				助成金額 (円)	主たる活 動市町村
				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①地域コミュニティの維持・活性化を支援する事業 ②傾聴、見守り活動等により被災者の孤独・孤立を防止する事業				※下記①②のいずれかまたは両方に該当する事業 ①被災者支援事業の今後の方向性を明確化させるための事業 ②財源の多様化・獲得等により、財政的自立、活動自走化を目指す事業					
25	継	ゆずりは	多世代交流	①	○	②	○	①		②		1,400,000	石巻市
<p>事業1:「たまり場」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの継続で、若年層～高齢者が楽しめる遊び道具等を準備し、多世代で交流できる居場所を作り、「波板地域交流センター」を会場にて開催。(但し、7月、8月は開催しない。) ・月の1日のみ出張「たまり場」として、雄勝地区内の集会場で開催。 <p>事業2:「お茶っこ歌声ひろば」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶っこをしながらのんびりおしゃべりをしたり、カラオケをしたりして交流して楽しんでもらう。(歌声喫茶のイメージ) ・参加費1人300円いただき今後の活動の資金作りの形を作り、継続可能な体制を目指す。 ・月1回8日に「波板地域交流センター」で開催。 				-				1,400,000	石巻市				